

1. 東口駅前広場初動期整備計画

(1) 東口初動期整備計画の内容

◆ 蒲田駅周辺再編プロジェクト

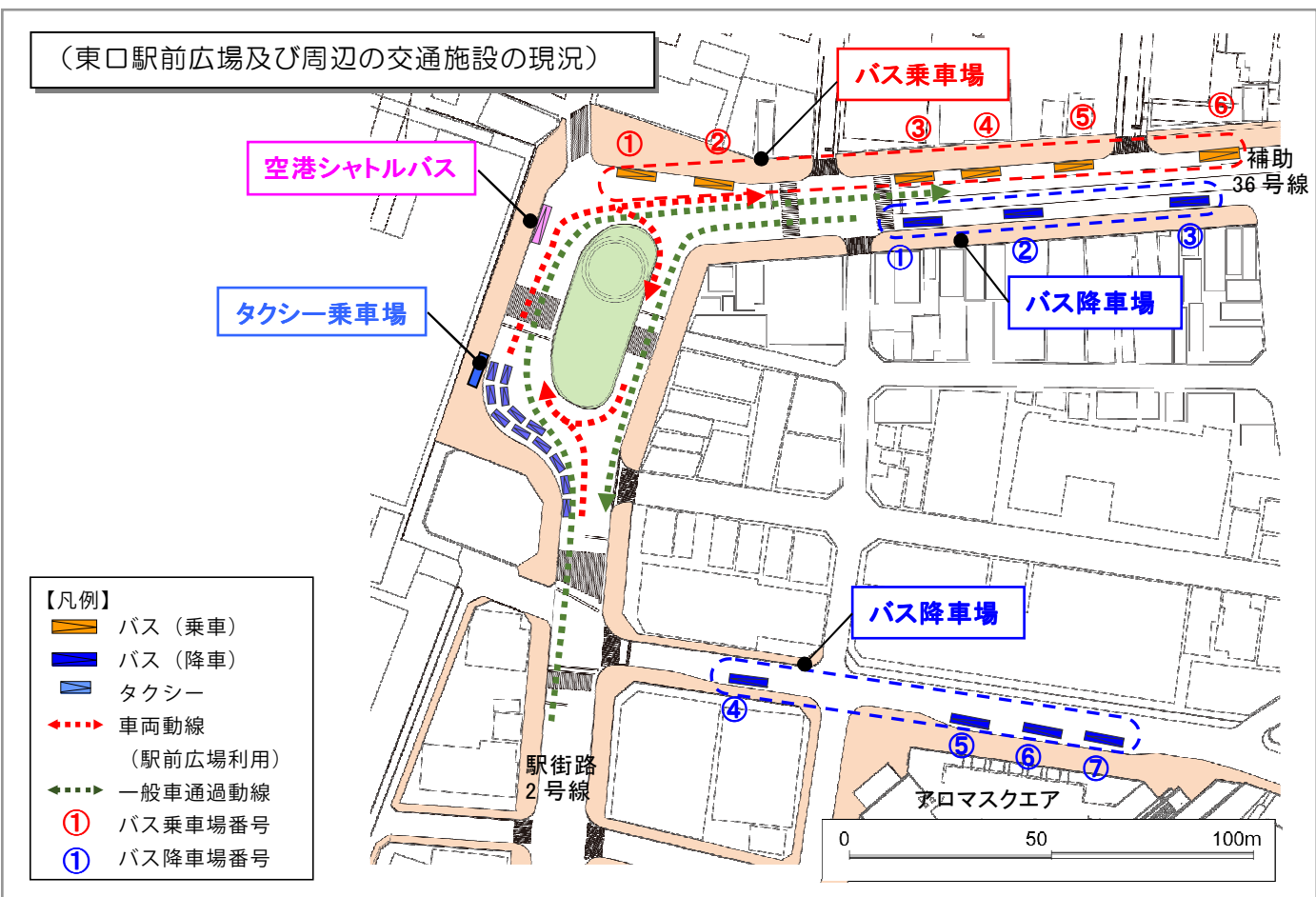
**歩行者環境の改善を重視した整備を行う**

※ 整備の前提として南側用地の取得により面積拡張

- ① 駅ビル側歩道の拡幅 ⇒ 現状約 6.5m → 幅員 10.5m の確保 (有効幅員 9m)
- ② 駅とまちを結ぶ歩行者動線の確保 ⇒ 回遊軸と結ぶ歩行者空間の確保 (補助 36 号線、東口中央通り、アロマスクエア方面)
- ③ バス降車場一部配置 ⇒ 補助 36 号線降車場を駅前広場内に配置
- ④ タクシー乗車場・待機場の配置 ⇒ タクシー待機場の新設
- ⑤ 一般車両の動線変更 ⇒ 駅街路 2 号線から補助 36 号線方向の一般車両動線の分離 ※中・長期整備計画において対応 (後述)

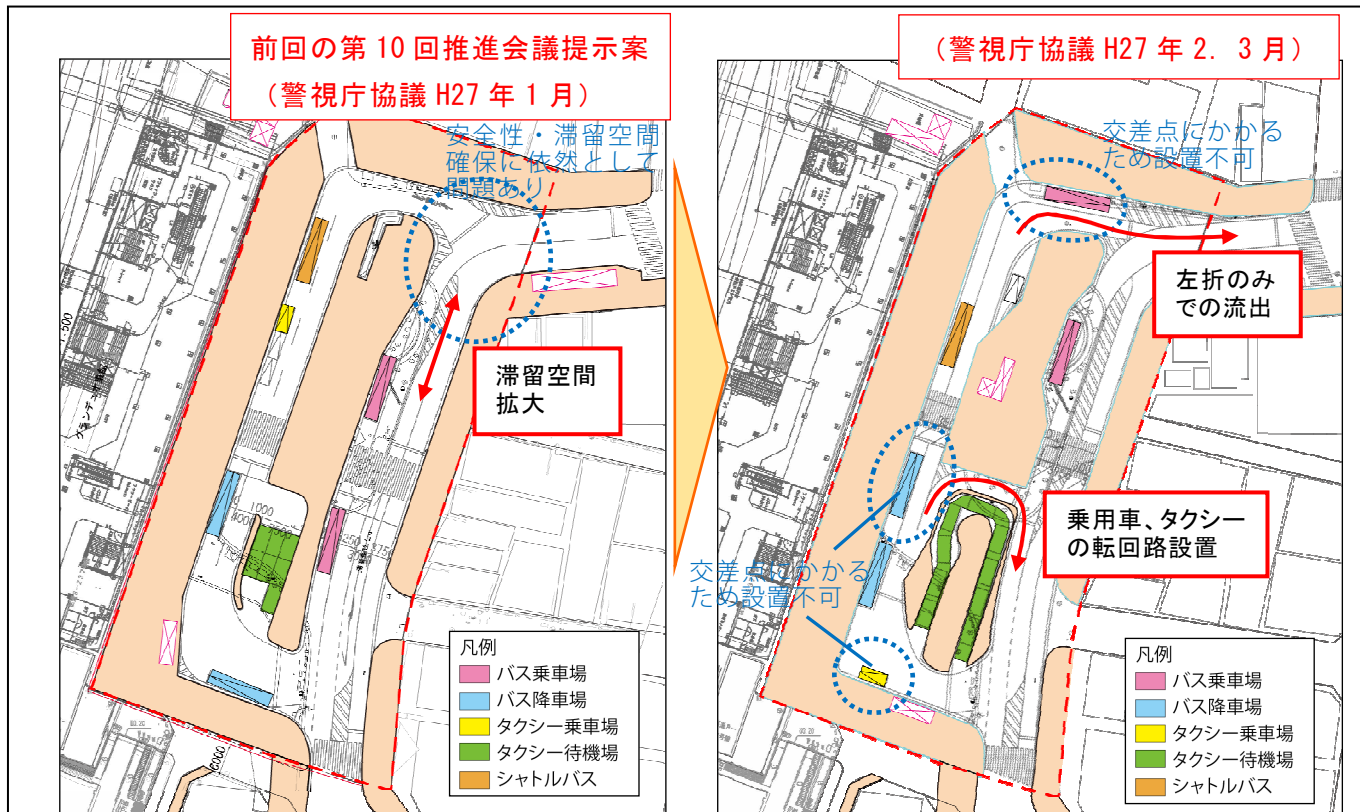
※ 地上部整備に合わせた地下自転車駐車場の設置

(現況図)



(2) 初動期整備計画案の検討

◆ 本線分離案の検討



(案のポイント)  
 これまでの計画案をベースに広場からの車両の流出を妨げないように、北側流出部から中央横断歩道までの滞留空間を拡大

(課題)  
 ・ 広場北側からの流出車両の滞留空間が依然として狭い  
 ・ 北側合流部で通過交通との交錯が発生するため安全上問題  
 → 交差点が近接しており、信号管制による制御は不可能

(案のポイント)  
 広場中央にUターン路を設け、北側流出部の交通負荷を軽減するとともに、北側流出部は左折アウトのみ (最大限北側流出部の負荷を軽減した案)

(課題)  
 ・ 道路の交差箇所が増え、バス乗降場の一部、タクシー乗車場が、交差点内となるため設置できない (必要な交通施設が確保できない)

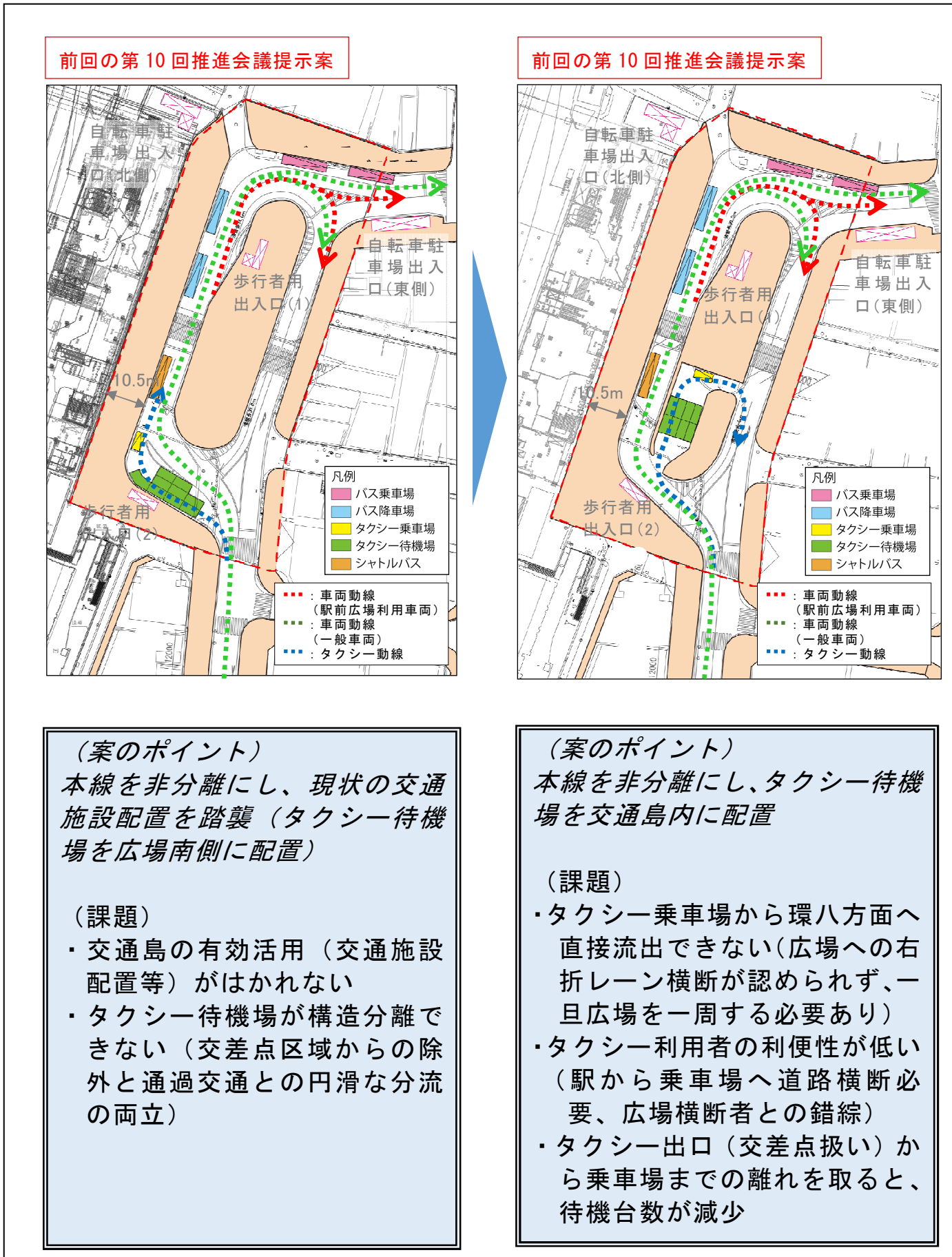
・ 一般車両の動線変更については、中・長期整備計画において対応を図る。  
 ⇒ 本線非分離案で検討を進める

(3)東口駅前広場初動期整備計画案

◆初動期整備計画案



◆本線非分離案の検討



## 2. 東口地下自転車駐車場整備計画

### (1) 検討の進捗状況

#### ◆東口地下自転車駐車場整備の内容（蒲田駅周辺再編プロジェクト）

**駅前広場地下に、暫定自転車駐車場の解消と駅周辺の放置自転車へ対応した整備を行う**

- ①目標台数の確保 ⇒ 暫定自転車駐車場 約 2,500 台分  
⇒ 放置対策 約 500 台分 } 計 3,000 台
- ②平置き・機械式の併用 ⇒ 地上からの自走による入庫  
⇒ 地下 1 層部での自走式平置きと機械式（水平式）
- ③自転車出入口の設置 ⇒ 北・東・南側の 3ヶ所設置  
⇒ エレベーターなどの併設
- ④歩行者専用出入口の設置 ⇒ 広場南側、交通島内の 2ヶ所設置
- ⑤東西連絡通路暫定整備 ⇒ 既存地下通路の活用  
※中・長期整備における対応を検討（前回説明）

#### ◆計画条件の整理

- ・ラック式では収容困難な子供乗せカゴ付き自転車、電動自転車、身障者用の対応として **自走式平置きを確保**（目標台数の約 1 割を目途）
- ・通勤・通学、買い物等の利用区分を考慮した**設備の配置**
- ・**場内通路・スロープ幅員等**は「自転車駐車場整備マニュアル 建設省都市局」の**基準を確保**
- ・地域の要望に配慮して**トイレを設置**
- ・地下機械式の故障時の対応として、機械式内に分散配置して**代車用スペースを確保**
- ・地上部広場形状に合わせた**給排気設備（吸気口、排気筒等）の配置**
- ・**歩行者用エレベーターの設置**

目標台数確保のための、公共用地外の活用について、関係事業者と協議

#### ◆協議状況（H26 年 11 月～H27 年 1 月）

・公共用地と同面積での整形化について、協力が得られる方向で調整

**（協議・検討状況を踏まえた整備の考え方）**  
⇒ **地下自転車駐車場形状の整形化での整備案を検討**

#### ◆整形化による収容台数確保の検討

自走式平置き	330
2段ラック	770
機械式（水平式6基） ※1	1,700
ほか点検時等の代車	(60)
<b>合計 ※2</b>	<b>2,800</b>

※1 敷地形状に合わせて配置するため 1 基あたりの収容台数はそれぞれ異なる。  
※2 機械式自転車駐車場の故障点検時に備え、60 台の代車を別途用意。通常時はレンタサイクル等での活用を検討。

#### （整備目標台数確保のための対応）

整備目標台数約 3,000 台に向けて、地下自転車駐車場の 2,800 台に加えて、下記の対応を行う。

- （対応策）**
- ①短期的には暫定自転車駐車場を一部残して運営
  - ②中・長期的には暫定以外の既存自転車駐車場の台数増などで対応

<解消が必要な暫定自転車駐車場>

- 蒲田駅呑川右岸 (収容台数 450 台) 【呑川緑道整備用地】
- 蒲田交差東口 (収容台数 450 台) 【都市計画公園用地】
- 東口臨時駐車帯 (収容台数 125 台) 【道路用地臨時使用】
- 蒲田あやめ橋 (収容台数 90 台) 【呑川緑道整備用地】
- 蒲田駅東口 (収容台数 504 台) 【東口駅前広場との一体整備】
- 区役所本庁舎前 (収容台数 602 台) 【まちづくり用地、初動期でタクシープールとして活用予定】
- 蒲田五丁目 45 番 (収容台数 200 台) 【まちづくり用地】

**上記計画案をもって、都市計画決定手続きを実施**